

取扱説明書

CW—01

π WATER SYSTEM PRODUCED BY ACM

このたびは、

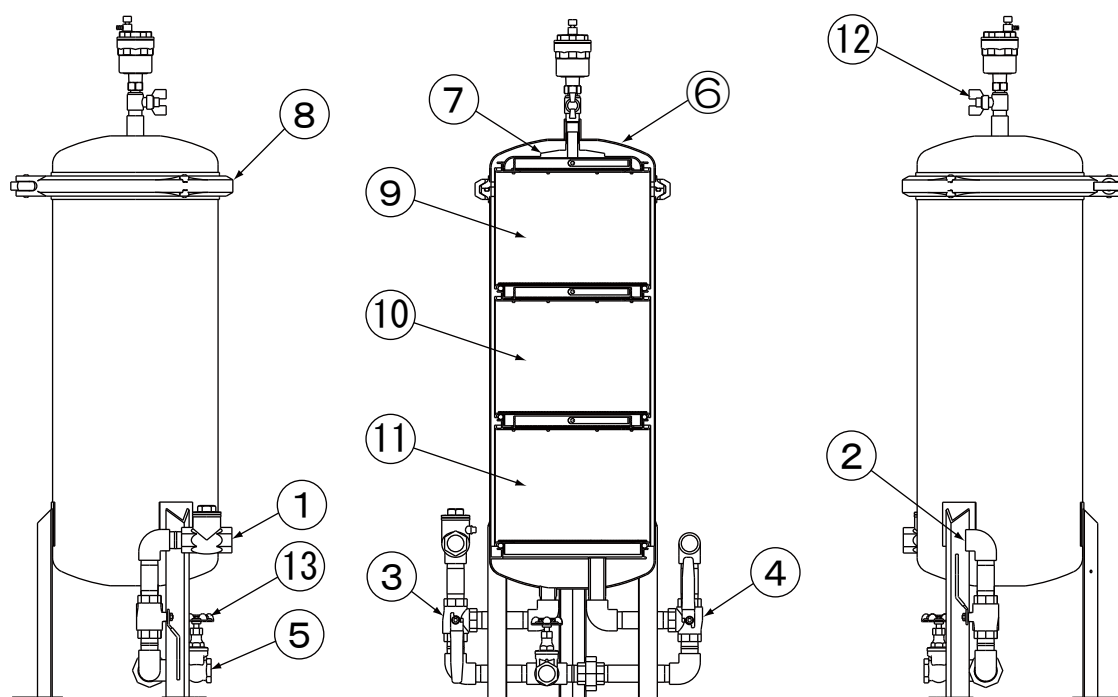
当社のCWO1をお買い求めいただきましてありがとうございます。
いつまでも安全に、快適にご使用いただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。

取扱説明書

目 次

1	各部の名称	2
2	ご使用上の注意	3
3	装置の設置方法	4
4	バルブの操作方法	5
	1. 洗浄のバルブ操作	
	2. 逆洗浄のバルブ操作	
	3. バイパスのバルブ操作	
5.	カートリッジの交換方法	8
	1. 交換について	
	2. 交換カートリッジ	
	3. バルブ操作	
	4. 上蓋の取り外し	
	5. カートリッジの交換	
	6. 上蓋のセット	
	7. 洗浄運転の操作	
	8. 通常運転の操作	

1 各部の名称



横（給水側）

正面

横（出水側）

番号	名称	仕様等
①	入水口	20A
②	ろ過水出口	20A
③	入水三方バルブ	振り分け用バルブ
④	出水三方バルブ	振り分け用バルブ
⑤	排水口	20A
⑥	上蓋	
⑦	内蓋	
⑧	P型クランプ	
⑨	Aカートリッジ	
⑩	Bカートリッジ	
⑪	Cカートリッジ	
⑫	エア抜きバルブ	15A
⑬	排水バルブ	20A

② ご使用上の注意

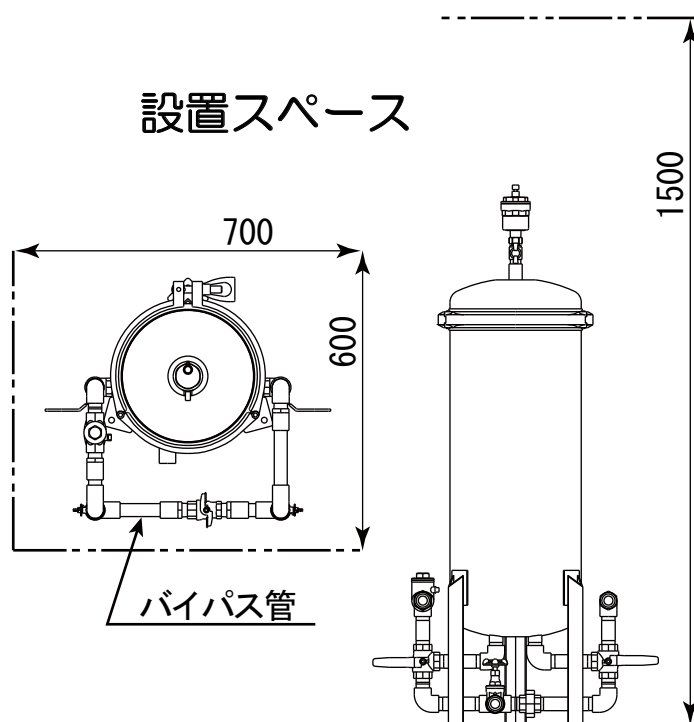
- (1) ご使用は、飲料適合水だけにしてください。
- (2) 使用水圧 0.5 MPa 以内でご使用ください。(水圧が 0.5 MPa 以上の場合給水側に減圧弁を設置して使用水圧以下にしてください)
- (3) 凍り付く恐れのある場合は、配管等に凍結防止の処置をしてください。
- (4) 装置が故障した場合に使用水量を確保するため、装置を設置する際には必ずバイパス配管を行ってください。
- (5) 大量の赤水を通水した場合、カートリッジ内部の奥まで大量の赤水が侵入することで詰まります。逆洗浄を行っても、カートリッジの詰まりがそれほど改善されない場合、使用水量を確保するためにバイパス通水に切り換えてください。
- (6) 井戸水、赤水等で汚れた水道水では、カートリッジの浄化能力が極端に短くなります。
- (7) 受水層・高架水槽・配管等の清掃、水道工事の際には、大量の赤さび、ゴミ等が発生することがあります。このようなときは、バイパス通水により水道水をしばらく放水し、濁りが消えてからご使用ください。
- (8) 金魚や熱帯魚などには使用しないでください。
 - ・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
 - ・カートリッジの寿命付近でカルキ(残留塩素)の除去が不十分な場合は、魚が死ぬ恐れがあるため。
- (9) 接続する配管径が、装置と同じ 20A 以下の配管に接続して下さい。
装置の配管径より大きい(25A 以上)に接続すると、使用されていた水量が出なくなります。
- (10) 水道管が鉄配管の場合には赤水が多く流れることがあり、カートリッジが徐々に詰まりますので、3～4 ヶ月に一度、逆洗浄をお勧めします。
 - ・逆洗浄は水道水を本体出水側から流水させるため、通常運転に切り替えた際に、初水に少量のカルキ(残留塩素)が含まれることがありますが異常ではありません。
- (11) 長期間ご使用されなかったときは、逆洗浄をおこなってください。

③ 装置の設置方法

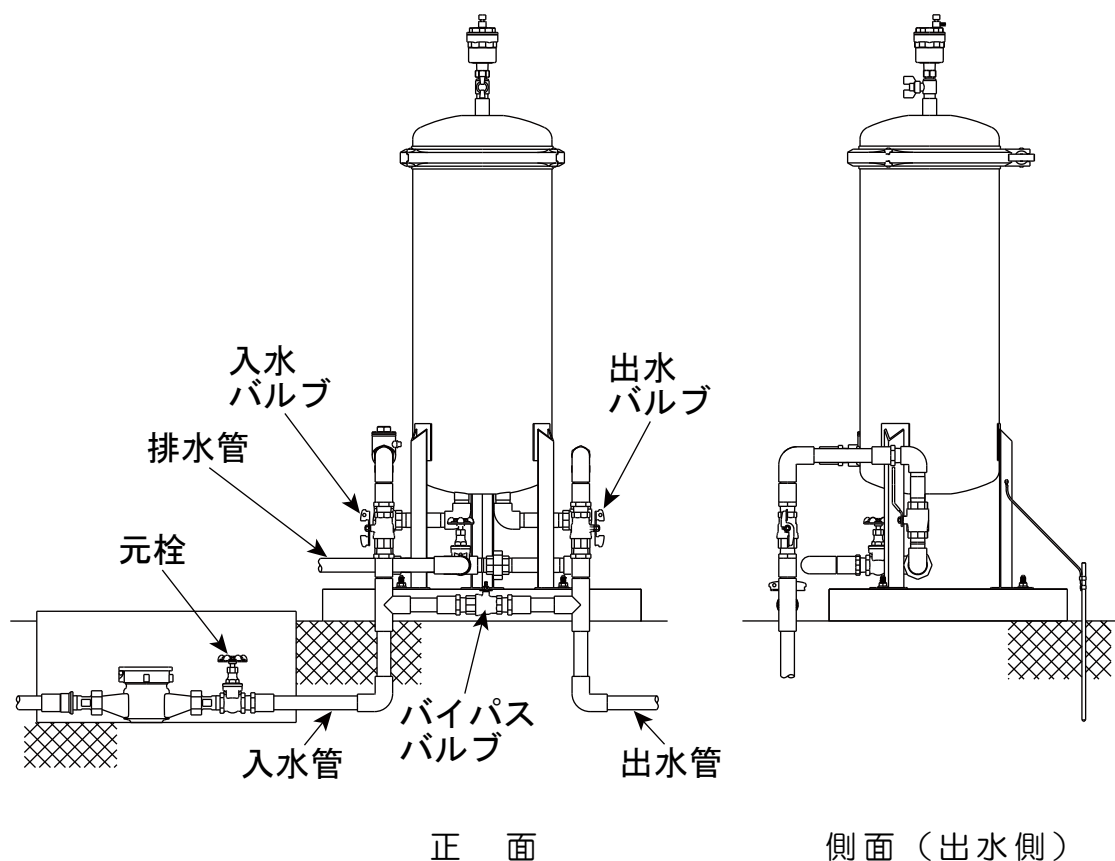
取り付けにあたり

本体のバルブ操作及びカートリッジ交換時の必要なスペースを確保するために下記のスペースで設置してください。

幅 : 700 mm 以上
奥行き : 600 mm 以上
高さ : 1500 mm 以上



1. 装置を安定させるための土台を敷きます。
2. 水道の元栓を閉めます。
3. 水道管の接続部分を掘り起こします。
4. 装置の入水口が元栓側、出水口が出水側に向くように土台に乗せ、掘り起こした水道管と接続しやすいように置きます。
5. 装置側の配管（入水口とろ過水出口）と接続しやすい位置で、水道管の2カ所を切断します。
6. 切断した水道管のうち、元栓側の配管は入水口と接続し、家側の配管はろ過水出口に接続します。
この時、入水口とろ過水出口を結ぶバイパスを接続し、バイパス管及び入水口とろ過水出口にバルブを設置してください。
7. 排水口は設置場所の周囲の排水溝へ向けて配管します。
(排水は設置時や逆洗浄及び、ろ材の交換後の洗浄時の排水なので周囲に排水できなければ、一時的にホースを取り付けて側溝等に排水してください)
8. 接続後は、洗浄を行います。(**④** 1. 洗浄のバルブ操作 参照)
9. 通水後に漏水の無いことを確認してから、水道管を埋め戻します。
10. 装置をアンカーボルトで固定します。
11. 凍結を防ぐため、地上に出ている配管に保温材を巻きます。



正 面

側面（出水側）

④ バルブの操作方法

1. 洗浄のバルブ操作

新設やカートリッジ交換時に装置のエアがろ過水に混ざり濁ることがあります。また、水道工事による赤水を排水させるために初期洗浄を行います。

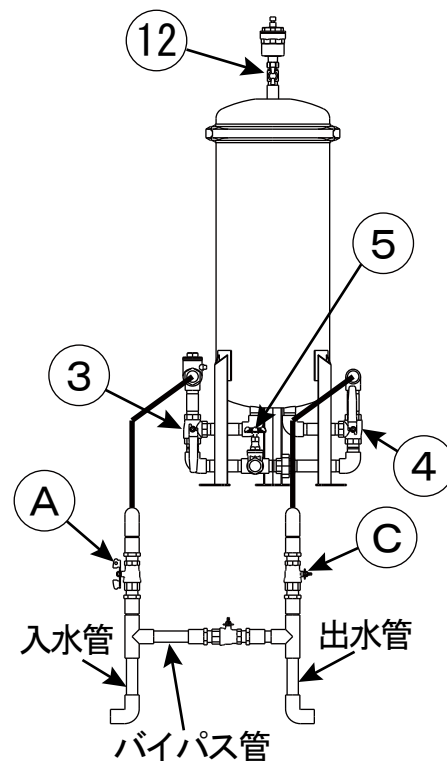
①バルブ操作

元栓を開ける前に、下記のバルブ操作の確認をしてください。

（バルブの開閉及び方向は、バルブのレバー又はレバーの回転軸に明記しています。）

- a) エア抜きバルブ⑫を開けます。
- b) 入水三方バルブ③のレバーを縦にします。
- c) 出水三方バルブ④のレバーを縦にします。
- d) 入水バルブAを開けます。
- e) 出水バルブCを閉めます。
- f) 排水バルブ⑤を開けます。
- g) バイパスバルブBを閉めます。

注）洗浄作業が完了するまで、出水側の蛇口等（バルブ）は開けないでください。



②通水

元栓を開けて本体へ給水し、洗浄を行います。

排水口から流れ出る初水が黒く濁る又は白く濁ることがありますが異常ではありません。

初水の濁りがある程度無くなったら（3分程度）排水バルブ⑤を止めます。

注）排水を停止させたときに、エア抜きバルブ⑫からエアが抜けます。

エアの抜ける音が止まってから1～2分待ちます。（これは胴内最上部まで水を溜めるためで、これを行わない場合は、内部のエアが完全に取れません）その後、排水バルブ⑤を開けて洗浄を行います。

その後、排水バルブ⑤を約3分間隔で開閉を繰り返し、濁りが無くなるまで行います。十分洗浄を行った後、排水バルブ⑤を閉めて排水を止めます。

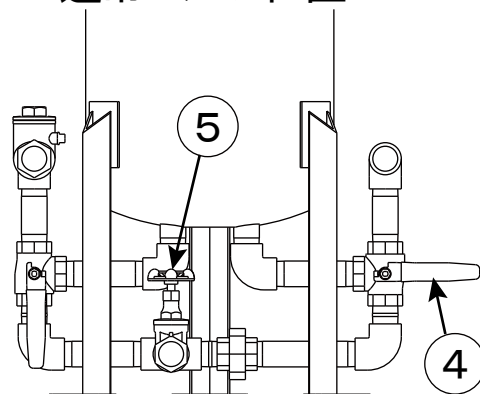
エア抜きバルブ⑫からのエアが抜けたことを確認してから、エア抜きバルブ⑫を閉めます。

（排水バルブ⑤を閉めた状態で水漏れが無いことを確認してください。）

出水三方バルブ④のレバーを横にして出水バルブCを開けます。

洗浄後、出水側の配管に空気が入っているので、家内の蛇口をゆっくり開け、配管内の空気を抜き（10分程度）完了です。

通常バルブ位置



2. 逆洗浄のバルブ操作

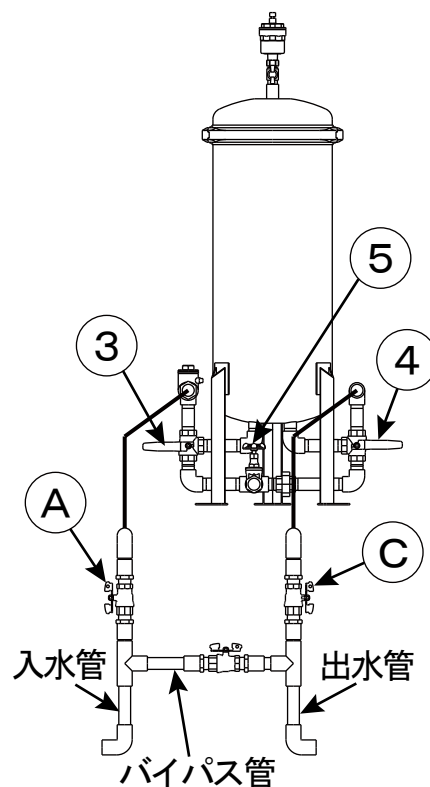
水道工事などによる赤水が直接装置に通水した場合、装置内から赤水を排水させるために行います。また、水道管が鉄配管の場合赤水が多く流れることがあるので、3～4ヵ月に一度、逆洗浄を行うことをお勧めします。

逆洗浄バルブ操作

- a) 入水三方バルブ③のレバーを横にします。
- b) 出水三方バルブ④のレバーを横にします。
- c) バイパスバルブBを開けます。
- d) 排水バルブ⑤を開けて、ろ材を十分に洗浄します。

逆洗浄の排水を十分に行なった後、洗浄バルブ操作を行います。

（**4** 1. 洗浄のバルブ操作 参照）



3. バイパスのバルブ操作

- トラブルのあった時、長期間使用しない時、カートリッジ交換を行う時の操作です。

* バイパスバルブ操作

水道工事などにより赤水が流れる可能性がある場合、直接装置に通水するとフィルター等の目詰まりやろ過能力の低下になるので、この操作を行います。

- a) 入水バルブAを閉めます。
- b) 出水バルブCを閉めます。
- c) バイパスバルブBを開けます。

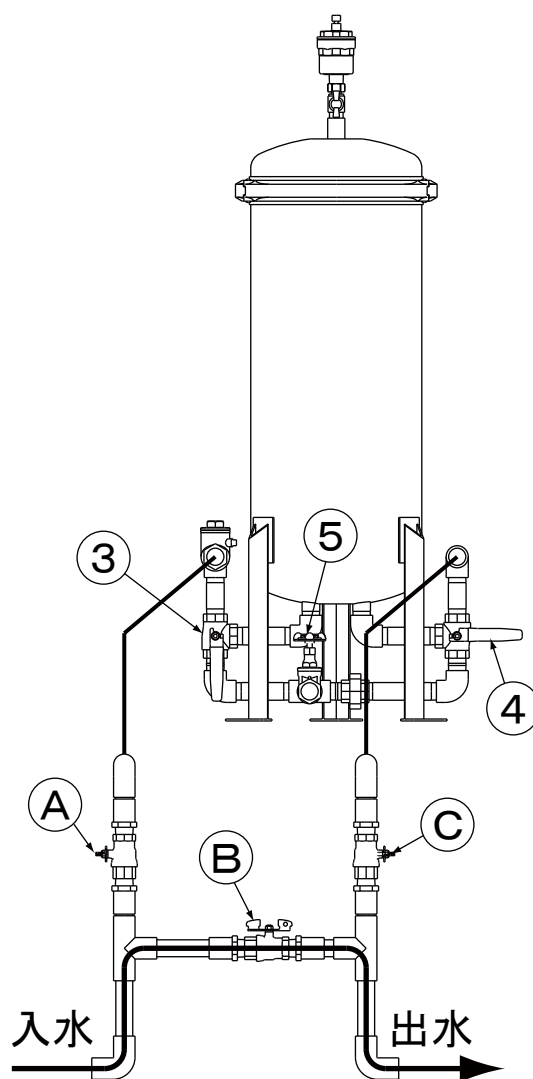
家内等の蛇口を開けて、赤水が出なくなるまで通水します。

給水設備のメンテナンスやトラブル等により、装置に赤水が通過されて逆洗浄を行っても使用水量が低下する場合、カートリッジの交換を行うまでは、使用水量を確保するためにバイパスによる通水を行います。

再び使用する際は、

- a) バイパスバルブBを閉めます。
- b) 入水バルブAを開けます。
- c) 出水バルブCを開けます。

(4 通常バルブ位置 図参照)



⑤ カートリッジの交換方法

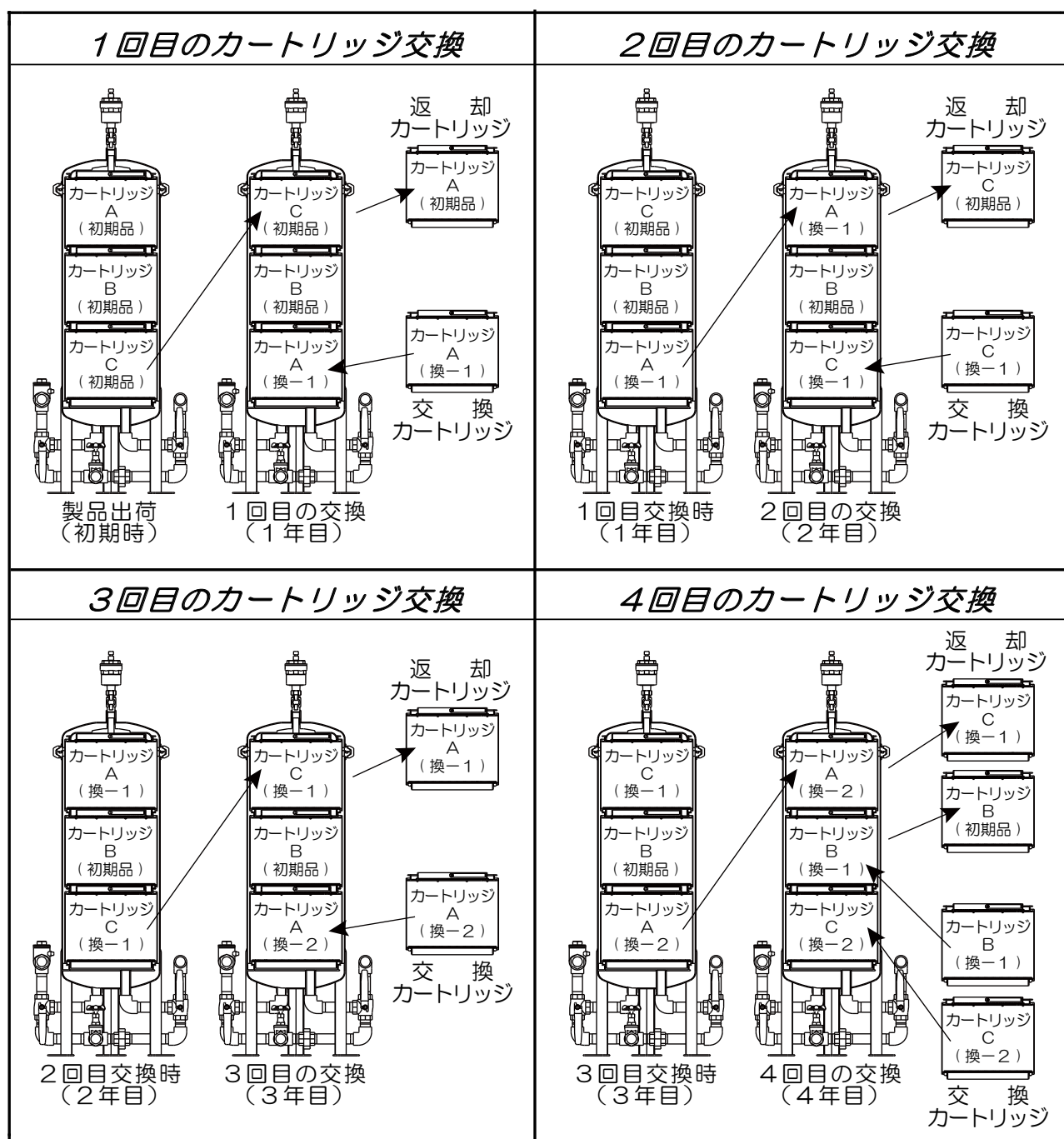
1. カートリッジの交換について

装置内部のカートリッジはA・B・Cの3個に分かれています。カートリッジAとCは毎年交互に交換してください。

その際、下側に入っていたカートリッジを上側にセットしていただき、交換カートリッジは下側にセットしてください。

カートリッジBは4年に1回交換してください。

《カートリッジ交換表》



2. 交換カートリッジ

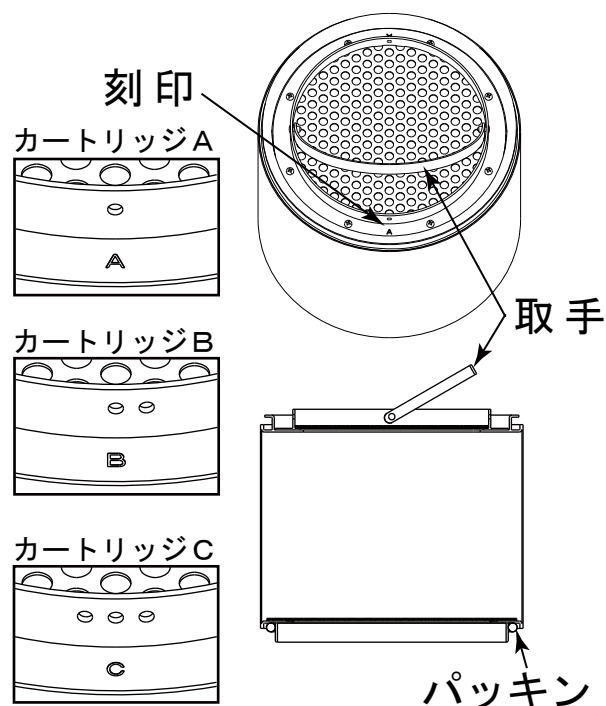
カートリッジの上側に【A】【B】【C】の印があります。また、取手が付いているリング側（印の付近）の穴の数でカートリッジを見分けられます。

カートリッジの下側にゴムパッキンが付いています。

カートリッジ	穴の数
【A】	1 個
【B】	2 個
【C】	3 個

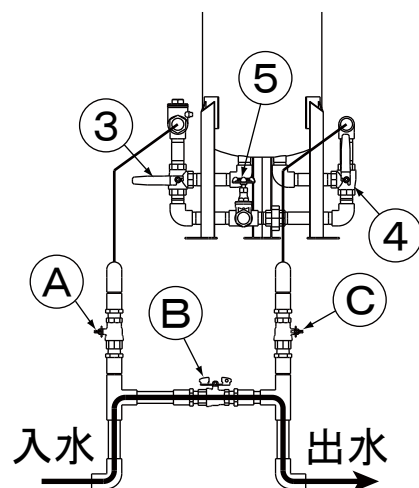
ろ材交換に必要なもの

- ・モンキースパナ 1 本
- ・ウォータープライヤー 1 本



3 バルブ操作（バイパス通水）

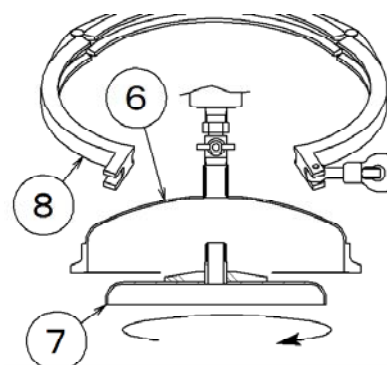
- 入水バルブ A を閉めます。
- 出水バルブ C を閉めます。
- バイパスバルブ B を開けます。
- 入水三方バルブ ③ のレバーを横にします。
- 出水三方バルブ ④ のレバーを縦にします。
- エア抜きバルブ ⑫ を開けます。
- 排水バルブ ⑤ を開けて本体内の残留水を排水します。



4 上蓋の取り外し

P 型クランプ ⑧ を全部取り外し、上蓋 ⑥ を取ってください。

（上蓋 ⑥ から内蓋 ⑦ を回して外し、洗ってください。）

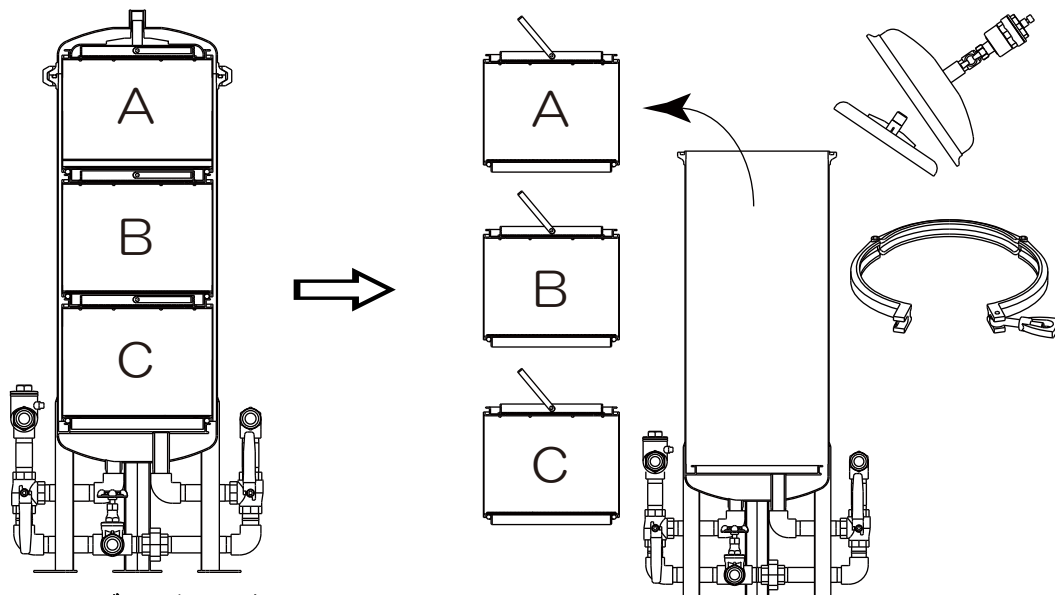


5. カートリッジの交換

a) カートリッジの取り出し

装置内部には3個のカートリッジが入ってます。

各カートリッジ上の取手をつかみ装置から取り出してください。



b) カートリッジのセット

カートリッジを装置の中に入れます。

入れる順番は「**5** 1. カートリッジの交換について」の《カートリッジ交換表》により、交換回数に応じた順番で入れてくださ。

*各カートリッジの下側にパッキンが付いてること、またゴミ等が付いていないことを確認してください。

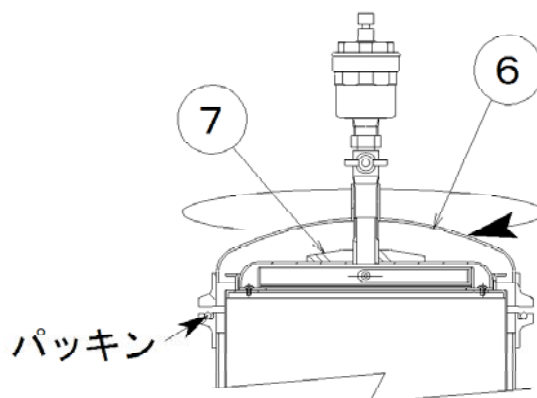
使用済みカートリッジは水を切り、交換用カートリッジの梱包箱に入れて送り返してください。

6. 上蓋のセット

a) パッキンを外し、布等でパッキンのセット溝のゴミ等を取り除いてください。
外したパッキンを水洗いして、付着ゴミを流してから再セットしてください。

b) 内蓋⑦をカートリッジの上に乗せてから上蓋⑥をかぶせ、パッキンに触れるまで右に回してください。

c) P型クランプ⑧をセットしてください。



7. 洗浄運転の操作

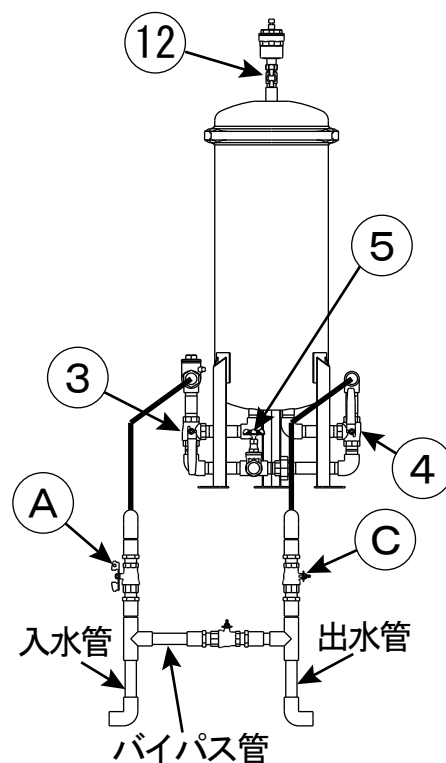
- a) 排水バルブ⑤を閉めます。
- b) 入水三方バルブ③のレバーを縦にします。
- c) 出水三方バルブ④のレバーを縦にします。
- d) 入水バルブAを開けます。
- e) エア抜きバルブ⑫を開けます。

エア抜きバルブ⑫からエアが抜けます。
エアの抜ける音が止まってから1～2分待ちます。

注) これは胴内最上部まで水を溜めるため、これを行わない場合は、内部の汚れが完全に取り除けません。)

- f) 排水バルブ⑤を開けて洗浄を行います。
- g) 排水バルブ⑤を約3分間隔で開閉を繰り返し、濁りが無くなるまで行います。十分洗浄を行った後、排水バルブ⑤を閉めて排水を止めます。
- h) エア抜きバルブ⑫からのエアが抜けたことを確認してからエア抜きバルブ⑫を閉めます。

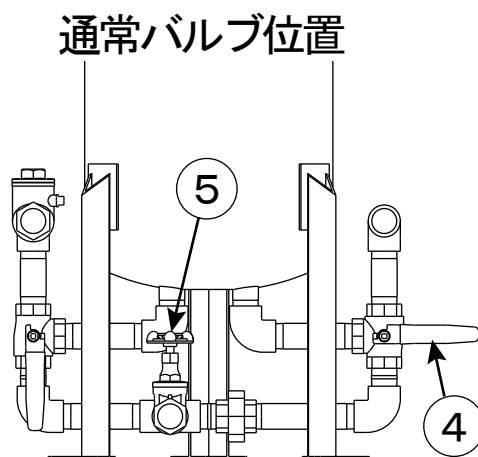
注) 排水バルブ⑤を閉めた状態で水漏れの無いことを確認して下さい。



8 通常運転の操作

- a) 出水三方バルブ④のレバーを横にします。
- b) バイパスバルブBを閉めます。
- c) 出水バルブCを開けます。

この時配管に空気が入っている場合があるので、家内の蛇口を開け、配管内の空気を抜き(10分程度)完了です。



＜水の検査方法＞

これは浄水された水が正常であるか確認する検査です。

1. コップに浄水後の水（約50cc）を取ります。
2. 残留塩素測定試薬を1袋加えます。
3. かき混ぜて、無色透明であることを確認してください。
（判定は1分以内で行ってください。）



残留塩素測定試薬

残留塩素試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を判定する試薬です。
塩素が残留していると試薬はピンク色に変色します。
但し、1分以上おくと残留塩素がない状態でも変色しますのでご注意ください。

＊ ご注意

- ・ 試薬は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
- ・ 品質保持のため、袋はご使用直前に開封してください。
- ・ 試薬が変色したものはご使用にならないでください。
（保管状態により、試薬が白色から変色してしまうことがあります。）
- ・ 検査後のコップの水はすみやかに捨てて、コップはよく洗ってからご使用ください。
- ・ 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意してください。
- ・ 試薬が手や皮膚についた場合は、よく洗い流してください。
- ・ 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談ください。
- ・ 乳幼児の手の届かない場所に保管して下さい。

仕 様

型 式	CW－O 1
初期流量	3 4 L / 分（動水圧 0.1MPa時）
浄化能力 ＊水質の違いにより、浄化能力が異なる場合がございます。	880,000L
本体材質	ステンレス
本体寸法（外径φ×高さ）	φ262×1090 mm
本体重量	約 54 キログラム（未通水時）
カートリッジ交換時期	1日約1,200L 使用時 【A】【C】カートリッジ使用限界2年 【B】カートリッジ使用限界4年

保証書

CW-01をお買上げいただきありがとうございます。

いつまでもご愛用いただけますよう下記保証規定内容で保証し、無料修理させていただきますので、故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

※ 保証期間	令和	年	月	日から
	令和	年	月	日の1年間とします。
	(本 体)			

※ お客様	ご芳名
	様
	ご住所 -
	電話 ()

※印欄に記入のない場合、1年以内であっても無償サービスの受けられない
ことがありますので必ずご確認ください。

器種名※ CW-01	製造番号 ※
-------------------	---------------

※ 販 売 店	
------------------	--

株式会社 エイ・シー・エム

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10

TEL 03-3634-7373 (代表)



保証規定

本書は下記保証規定内容で、無料修理させていただくことを、
お約束致します。

1. 保証期間は、お買上げの日をもって保証期間の開始日とし1ヶ年と致します。
 - (1) 保証範囲は本体のみとし、カートリッジは含みません。
 - (2) カートリッジは極めて平均的な条件下で設計されています。短期間(2日以内)におけるフィルター詰まり、あるいは濾材漏れの場合は無償交換致しますので販売店迄ご連絡下さい。
2. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書により正常に使用された場合に限り、保証期間に故障した場合には、無償サービス致します。
3. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
 - (1) ご使用上の誤り、あるいは取扱い上の不注意、不当な修理改造による故障および損傷。
 - (2) お買上げ後の取り付け場所の移動、落下および輸送等による故障および損傷。

- (3) 火災、地震、塩害、落雷、ガス害、その他不可抗力による故障および損傷。
 - (4) 故障および損傷原因が異常水圧等外部要因による故障および損傷。
 - (5) 外観等の自然悪化。
 - (6) 本保証書のご指示がない場合。
 - (7) 本保証書の記入事項未記入および販売店捺印のない場合。
 - (8) カートリッジのトラブルによる本体の交換。
 - (9) 日本国外で使用される場合。
4. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(Effective only in Japan)

※なお、本保証書は、本書に明記した保証期間および各条件のもとにおいて無料修理をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。

■製造元 **株式会社 エイ・シー・エム**

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10

TEL. 03-3634-7373 FAX. 03-3634-7384